

☑平成 30 年度 事務事業評価(平成29年度実施事業事後評価)シート / 平成 31 年度 実施計画調書 (  新規  拡充  縮小  休止・廃止  現状維持 )

**1 事務事業の基本情報** ☞ 位置付けられている計画等で『その他の計画』が複数ある場合は、代表的なものを1つ記入してください。また、該当する根拠法令及び市条例等が複数ある場合、代表的なものを1～2個記入してください。

事務事業名	長塚節文学賞経費	補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (平成 年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分	一般会計	款	10	項	5	目	5	事業	3
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当係	文化	係	作成者	宮本 欣英	内線(電話番号)	8430	シート作成日	H30.10.15	部長決裁日	H30.10.24		
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input type="checkbox"/> その他の計画 (名称: )		根拠法令及び市条例等 <input type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称: ) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称: ) <input type="checkbox"/> 市の条令・要綱・規則等 (名称: )													

**2 事務事業の目的** ☞ 当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどうか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。

現状課題	長塚節文学賞は『節のふるさと』である常総市を全国に発信するため、旧石下町時代から開催している事業で20回目を数える。H29年度も短歌、俳句、短編小説の3部門合計で6,470点の応募があったが、作品は第16回をピークに減少傾向にある。	誰・何を対象に どのよう な方法 手順で	全国の文芸創作者、長塚節の研究者・愛好者など  長塚節文学賞を創設し、短編小説、短歌、俳句の作品を募集し優秀な作品を表彰する	望ましい状態	市が開催する数少ない全国大会であり、作品が毎年増加していくとともに、質の向上も図られ、この賞に入賞することを国内外から望まれるようになること。
------	--	-------------------------------	--	--------	---

**3 事務事業の主たる成果指標** ☞ 数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。

指標名	応募作品数	単位	点	目標値	21,000	目標年次	平成 34 年度	指標及び目標値設定の考え方 (又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	全国に情報発信している反応を応募作品数で一応の目安とすることができる。平成28年度(第19回)に応募期間の変更などにより作品数が減少したことから、水害前の水準への回復を考えていきたい。
-----	-------	----	---	-----	--------	------	----------	---	--

**4 事務事業の実績 ㊦** ☞ 当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。

年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度										
	業務名	活動量	業務名	活動量	業務名	活動量									
事務事業を構成する主な業務	① 作品の募集・受付	7ヵ月	① 作品の募集・受付	5ヵ月	① 作品の募集・受付	5ヵ月									
	② 審査の依頼	3部門	② 審査の依頼	3部門	② 審査の依頼	3部門									
	③ 審査会の開催	3部門	③ 審査会の開催	3部門	③ 審査会の開催	3部門									
	④ 運営委員会の開催	1回	④ 運営委員会の開催	1回	④ 運営委員会の開催	2回									
	⑤ 編集委員会の開催	1回	⑤ 編集委員会の開催	1回	⑤ 編集委員会の開催	1回									
	⑥ 入選作品集の作成	1回	⑥ 入選作品集の作成	1回	⑥ 入選作品集の作成	1回									
	⑦ 表彰式の開催	1回	⑦ 表彰式の開催	1回	⑦ 表彰式の開催	1回									
	⑧ 入選作品集等の送付	1回	⑧ 入選作品集等の送付	1回	⑧ 入選作品集等の送付	1回									
	⑨ 次回募集要項及びポスターの作成	1回	⑨ 次回募集要項及びポスターの作成	1回	⑨ 次回募集要項及びポスターの作成	1回									
	⑩		⑩		⑩										
	⑪		⑪		⑪										
	⑫		⑫		⑫										
目標値に対する実績値		15467 点	目標値に対する実績値		7052 点	目標値に対する実績値		6470 点							
決算額	計	4,410,111 円	内訳	特定財源	1,005,000 円	計	3,982,579 円	内訳	特定財源	797,000 円	計	3,976,053 円	内訳	特定財源	948,000 円
				一般財源	3,405,111 円				一般財源	3,185,579 円				一般財源	3,028,053 円
				(住民一人あたりの行政コスト)	71 円				(住民一人あたりの行政コスト)	65 円				(住民一人あたりの行政コスト)	66 円

**5 担当者評価 ㊧** ☞ 実施したことによる成果や問題点を記入してください。

成果	目標未達成	成果内容	短歌部門の応募作品減少が大きく、応募作品全体としては減少傾向が続いているが、短編小説部門、俳句部門では前年を上回る応募があり、引き続き地道なPR活動を続けていくことが求められる。
問題点			作品数の減少については、時期の問題ばかりでなく、担当課のPRの充実や小中学校への働きかけなど、まだできることがあるか考えていく必要がある。また、受益者負担のあるコンテストである以上、入賞者に送られる賞品(賞金)、記念品についても、応募を増やすための一要素となりうる事から、財政措置を含めて今後充実させていくか検討する必要がある。

**6 担当部長及び担当課長評価 ㊨** ☞ 担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。

事務事業の方向性

拡充  現行どおり  縮小  休止・廃止

評価理由

常総の地域性を生かす事業として拡充したいところではあるが、応募作品減少の現状を鑑み、現行どおりと評価した。

**7 実施計画 ㊩** ☞ 今後3年間の事業内容について、どのようなことを実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。

年度	平成30年度		平成31年度		平成32年度		
事業内容	・作品の募集・受付 4月1日から9月14日で募集中 ・審査の依頼 ・審査会の開催 11～12月に審査員の予定を確認して開催予定 ・運営委員会の開催 ・編集委員会の開催 ・入選作品集の作成 作品集は一般の応募者と小・中・高の入賞者に配布し、残部は有償で頒布 ・表彰式の開催 平成31年2月9日に実施予定 ・入選作品集等の送付 ・次回募集要項及びポスターの作成		・作品の募集・受付 4月1日から募集予定 ・審査の依頼 ・審査会の開催 11～12月に審査員の予定を確認して開催予定 ・運営委員会の開催 ・編集委員会の開催 ・入選作品集の作成 作品集は一般の応募者と小・中・高の入賞者に配布し、残部は有償で頒布 ・表彰式の開催 平成32年2月に実施予定 ・入選作品集等の送付 ・次回募集要項及びポスターの作成		・作品の募集・受付 4月1日から募集予定 ・審査の依頼 ・審査会の開催 11～12月に審査員の予定を確認して開催予定 ・運営委員会の開催 ・編集委員会の開催 ・入選作品集の作成 作品集は一般の応募者と小・中・高の入賞者に配布し、残部は有償で頒布 ・表彰式の開催 平成33年2月に実施予定 ・入選作品集等の送付 ・次回募集要項及びポスターの作成		
	歳出	計	4,028 千円	歳出	計	4,028 千円	
	予算額		特定財源	1,200 千円		特定財源	1,200 千円
		歳入	一般財源	2,828 千円	歳入	一般財源	2,828 千円
		計	4,028 千円		計	4,028 千円	

**8 財務アドバイザーの見解**

『常総市財政健全化計画』では、平成29～31年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況の中で、本事務事業は費用対効果が明らかに悪化し続けていることから、平成31年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については平成29年度の一般財源決算額の金額以下の予算要求を行い、事務事業の内容と計画を抜本的に見直すべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する。市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。

**9 行政改革懇談会(市民)の意見**

担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。郷土の文化で最も認知されている事業である。全面に押し出し、大いに推進していただきたい。ただし、応募者が減少しているようなので、規模に応じた予算で内容の充実も検討されたい。

**10 最終評価(行政改革推進本部) ㊪**

事務事業の方向性

拡充  現行どおり  縮小  休止・廃止

評価理由

市内小中学校や高校への積極的な作品募集と幅広いPRを行いながら、郷土の文化継承のために継続したい事業である。

**11 事務事業の改善理由 ㊫** ☞ 実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止廃止部分もこの欄に記入してください。

事業内容

作品数の減少については危惧すべき課題であり、現行予算の範囲内で最大限の効果の上がるPR方法を検討していく。H30年度は市内小中学校に働きかけを行い、前回より作品数が増える見込みとなっている。